



R7. 3. 17 発行

コミスクだより

浜松市立北浜小学校 学校運営協議会



地域社会全体で子供を育むために

北浜小学校では、コミュニティ・スクールを導入する以前より、学校応援団活動が組織的に展開され、ある意味では、地域社会全体で子供たちを育てていこうとする下地ができているように思います。

昨今、社会の激しい変化に立ち向かうために、学校と地域との連携・協働の必要性が高まっています。次世代を担う子供たちは、今までとは違う多くの課題に立ち向かうこととなります。子供たちは、多くの価値観にふれ、柔軟な対応力を身に付けていく必要があります。もはや、学校だけでは、子供を育てることはできないと言っても過言ではありません。また、学校が抱える課題は、多様化・複雑化し、それを学校だけで解決するのは難しい現実があります。

このようなことから、地域社会全体で子供を育てることが必要となってくるのです。地域の様々な立場の人たちが、学校諸活動に関わるようになれば、多くのメリットが生まれてきます。子供たちにとっては、より豊かな学びが生まれ、同時にその学びに関わった大人も、子供たちとの関わりの中で自らの学びを深めることができます。さらに、子供たちは、地域の人たちと関わることで地域に愛着や誇りをもてるようになります。学校においては、役割を地域と分担することで、学校全体の負担を軽減することにもつながります。



<学区の歴史を学ぶ>



<学校マスコットぬいぐるみづくり>

学校は、地域社会に向かって、今まで以上に声を発してほしいと思います。遠慮はいりません。「助けてください。応援の手を貸してください。」と。そのために、学校応援団があるのですから。

私は、「人は人を浴びて人になる」という文言が大好きです。幾度となくこの言葉を紹介し、人の成長には、いろいろな人との関わりが大事だということをお話してきました。まさに、学校応援団活動は、その大事な要素をいっぱい持ち合わせています。そして、北浜小の子供たちは、多くの地域の人たちの愛情を浴びて「人」として大きく成長しているのです。

この1年間、学校運営協議会並びに学校応援団活動への御理解・御協力に感謝いたします。学校応援団活動は、目新しいことを取り入れなくても、今やっていることを充実・深化させていくことが大事だと思います。「無理せず、欲張らず、じっくりと」を合言葉に着実に進めていきましょう。今後ともよろしく願います。

学校運営協議会会長 熊谷三郎

第4回学校運営協議会を開催しました

令和7年2月12日(水)、第4回の学校運営協議会を行いました。

2学期末に実施した子供、教員、保護者のアンケート結果をもとに、今年度の教育活動の振り返りをしました。

委員からは、「学校が楽しいと回答した児童の割合が90%というのは素晴らしい。子供と教員との信頼関係ができているから、このような結果になったように感じる。」「いじめアンケート調査では挙がらないこともある。日頃からの未然防止が大切だと感じる。」「子供たちが自分自身で成長したと感じられる気付きのある活動は意義があるように思う。」などの発言がありました。委員は、子供・保護者・教員・地域とのつながりの大切さを改めて実感することができました。話し合ったことを令和7年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。

【議事録及び学校運営協議会自己評価は、学校ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。】



3学期の学校応援団の活動の様子

1年生の生活科「昔の遊び」の学習では、40名程の学校応援団の方に、昔の遊びを教えてくださいました。子供たちは、夢中になって遊んでいました。



こままわし



あやとり



おてだま



だるまおとし



はごいた



けんだま



地域の皆さんが**学校応援団**です。
学校と地域で北浜小の子供たちを**笑顔**にします。
あなたの力をお貸しください。

【お問い合わせ・お申込み 学校ホームページ】⇒

